

学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「二わの ことり」

## ★今回の道徳の授業のねらい

友達と仲良くし、思いやりを持って助け合っていこうとする心情を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

「みそさざい」は、「やまがら」から誕生日の招待を受けながら、友達に誘われるまま、「うぐいす」の家へ来てしまいます。しかし寂しく待っているであろう「やまがら」を思い、「やまがら」の家へ行くという内容です。「みそさざい」の心の葛藤に共感し、「みそさざい」の友達を思う気持ちを深く考えることのできる教材です。

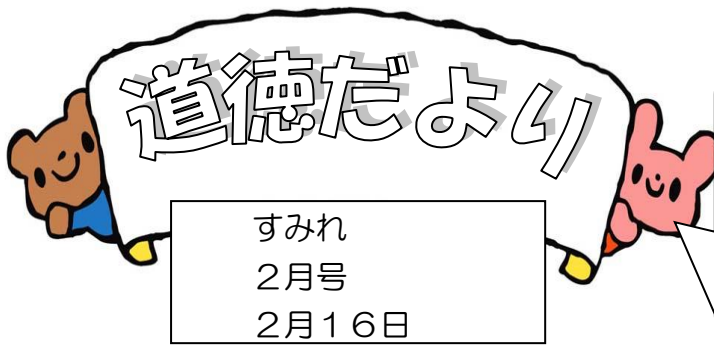
## ★お子さんの授業の様子

- ・「やまがらは嬉しい。」
  - ・やまがらの嬉しそうな様子を見て、みそさざいは満足した。
- などと、登場人物の気持ちを絵と言葉で表現することができました。

## ★家庭で話し合ってもらいたいこと

性格や能力は人それぞれに違ってはいますが、相手の立場に立って考えるところから信頼が生まれ、「友情」が育ってくることは言うまでもありません。

幼少期のうちから、相手を思いやり友達を大切にしようとする心情を育てていくことが大切です。ご家庭でも、友達について、お子さんからいろいろ聞いてあげてみてください。



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合っしてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「しあわせの王子」

## ★今回の道徳の授業のねらい

美しく優しい心に感動し、それを大切にしようとする心情を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

外見的にきらびやかな王子の像が自己を犠牲にしながらも、不幸な人たちのために尽くす姿と、その心に打たれて王子に寄りそうツバメの姿が感動的に描かれているお話です。王子やツバメの美しい心に十分に共感できるようにし、その内面的な美しさ、尊さを素直に感じ取れるようにしたい教材です。

## ★子どもたちの授業の様子

子どもたちは「(王子の) 目見えなくなるよ。」「(王子は) 優しいね。」などと、王子が自分を犠牲にして人々を助けることに驚きながらお話を聞いていました。

授業の最後は自身の経験をふり返り、遊びの中で友だち同士がボールを譲っていたことや、自分が下級生に譲ってあげることがあることを述べていました。

## ★家庭で話し合っしてほしいこと

美しい心に素直に感動する気持ちや、気高いもの、崇高なものを尊敬する気持ちを育みたいものです。そのためにも、人としての在り方を深く考えたり、その心を感じたりする機会として、伝記などの物語を読み聞かせることは効果的です。また、お子さんの生活場面で、人とのかわりあいの中で起きた言動や、行為の中にあるお子さんの心の美しさや清らかさ、そして、崇高な心を見つけてください。それを教えることによって、お子さんが自分にも美しい心があるということに気づくことが大切です。

このようにすることでより一層、人の心の美しさについて考えることができると思えます。